**令和3年度　自己評価結果報告書**

**隼人認定こども園**

* **本園の教育、保育目標**

**・子ども達一人一人がよりよく生きる力の基礎を育てる**

**・子どもが安全で安定した生活ができるよう環境を用意し、自己を十分に発揮しながら健全な心身の発達が図れるようにする**

**・養護と教育が一体となって豊かな人間性を持った子どもを育む**

**保育目標**

|  |  |
| --- | --- |
| **元気：心身ともに健やかな子** | **・広々とした環境の中で戸外遊びを多く取り入れ、心も体ものびのびと過ごす****・身近な環境に親しみ、季節を感じてあそぶ****・食育を通して食の大切さを知り、何でも食べられるようになる** |
| **やる気：よく考え工夫して意　欲的に遊べる子** | **・園生活の中で自分の考えや発想を広げながら、遊びを楽しむ****・いろいろな遊びを通して工夫しようとする****・自分で目標を決め、それに向かって友達と協力してやり遂げようとする** |
| **思いやり：友達と気持ちを共　有して仲よく遊べる子** | **・色々な活動や遊びの中で、協調性を培い社会性の基礎となる態度を身につける****・人の話や行為に対して、豊かな感覚や感情を育む****・言葉や会話で解決する力を育む。また、解決できる喜びを知る****・園生活、あそびを通して善悪を知ったり、ルールを作ったり守ったりする****・共有する全ての遊具や、地域の公共物や公共施設を大切にする心を育み、公徳心を培う** |

**２、本年度、重点的に取り組む目標・計画**

|  |
| --- |
| **・幼保連携型認定こども園においては、生きる力の基礎を育むため、3つの資質・能力「知識・技能の基礎」・「思考力・****判断力・表現力の基礎』・「学びに向かう力・人間性等」及び幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を一体的に育めるよう、様々な経験を計画的に実施していくものとする。** |

* **評価項目の達成及び取り組み状況**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **評価項目** | **取り組み状況** | **今後の取り組み・課題** |
| **地域に根付く認定こども園としての仕組み機能の理解** | **昨年に続き、新型コロナウイルス感染症予防対策の為、地域交流の中止が相次ぎ、様々な交流を通した経験が削減されたが、周囲の感染状況を踏まえ、感染対策を行いながら公共施設を利用したり、作品の出展等、出来る限りの体験に努めた。園見学に来園いただいた方におかれては、子どもの成長過程を軸に、日々の活動の写真や室内外の環境作りの特徴の説明に取り組んだ。** | **今後も、新型コロナウイルス感染症の影響で、園外活動の自粛を余儀なくされ、見通しを立てることが困難と予想されるが、様々な工夫の中で、子どもたちの経験を計画・実施していく必要がある。地域の方に園の取り組み・役割に関心を持っていただけるよう今後も発信していきたい。** |
| **保育の計画性** | **教育要領に準拠した編成を行い年間計画・年間計画、月案、個別の保育計画記録の作成を行い、月ごとにテーマを設け、季節や年齢に合わせて、その時にしか体験できない事柄を、プロジェクト保育として遊びや活動を取り入れ子ども一人ひとりが主体性と個性を発揮できるよう、興味・関心・意慾を高めている。** | **一人ひとりの成長も視野に入れ、遊びを通して子ども同士がつながれる活動や環境を設定し、発達に合った経験や体験をまんべんなく出来るように活動内容の充実を図る。** |
| **計画案の検討** | **日頃の保育や行事に関して、発達段階に合わせた内容で取り入れることで、子どもたちの育ちがより良いものになるよう取り組む。****(3ヶ月前計画)** | **3ヶ月前計画は意識して取り組むことができたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、縮小せざるを得ない時もあった。ゆとりをもった計画実施できるよう感染状況をみながら細かい打ち合わせを行い職員の連携を図れるようにする。** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **子どもの実態の職員共通理解** | **年度末に担任交代を含め園児処遇の申し送りを実施し、継続的な関わりができるようにする。定期的な全体会議では各クラスの取り組み、課題についてアセスメントし合うことで安心・安全な環境のもと園全体で見守ることができるよう努めた。特に特性のある園児については講師による、講義を受け専門的知識を積み、保護者支援につなげている。** | **全体会議で定期的に各クラスの子どもたちの姿など情報を共有し、色々な場面での行動から、その子の本質を理解し、仲立ちや必要な配慮・援助などの支援を、行うことで、子どもにとって安心・安全な環境を維持する。引き続き園児の姿を全職員で理解を図り、子ども一人ひとりに寄り添い園児全体に関心を向ける。** |
| **職員の資質向上** | **園内・オンライン研修を受講して職員の資質向上に努める。また、職員間で日々の振り返りを行い、子どもの発達や、活動を同じ方向性をもって保育・教育ができるように連携をとった。** | **専門性をより深めるため園内・外・オンライン研修を受講して、専門リーダーを中心とした園内研修の充実に努め、子どもの発達の理解を深め、共通理解できるようにする。** |
| **保護者のニーズの把握** | **意見箱の設置や、個別面談を実施することで保護者の要望や苦情(相談)が園に届きやすいようにし、出された意見は職員会などで話し合いの場を設け、必要な措置を講ずる。またこれまでの把握方法を軸に必要なアンケート調査を取り入れることで、よりニーズの明確化に取り組んだ。コロナ感染予防のもと行事など人数制限を行ったり、ライブ配信や動画配信を行うことで、子どもの集団活動や遊びを通しての様々な成長を感じていただけるよう実施した。** | **クラスで出された意見・要望・苦情(相談)も園全体の事と捉え園の考え方を示したり、改善すべきものは職員会で意見交換をし、改善点の見直しなどの取り組みを行う。またコロナ感染予防の理解をいただきながら、行事や日々の活動をライブ配信や動画配信を引き続き行うことで、様々な成長を感じていただけるよう、見える保育を実施していく。** |
| **保護者との連携** | **毎日朝夕のクラスでの準備では時間制限のある中、直接保護者の声が聴けるよう考慮し子どもの育ちを共感する。毎月、園だより、クラスだより、ほけんだより、給食献立表を通して園の取り組みを伝える。また、必要事項は連絡帳や口頭で伝えたり、週末には翌週の活動内容や準備物を配信している。玄関の掲示板では、日ごろの保育を写真やポートフォリオで観てもらい、保育参加では一年間の成長をスライドショーにして観てもらったりするようにし、保育内容を伝えている。入所後の定期的な面談を実施し園での育ち家庭での様子をを共通理解し、また年長児保護者に対しては個別面談で現在の園での育ちの姿を報告し共通理解を図り小学校移行のスムーズにつなげられるよう就学相談前に時期を調整している。** | **保護者との面談を定期的に実施するとともに行事等や提出物に関しては、なるべく早く詳細をお知らせするようにしていく。コロナ禍の状況説明を丁寧に図り、コロナ対策について具体的に説明し理解をしていただき、一つひとつの行事の在り方を考えながら協力を得ていく。職員間が1年間の成長をうまく引き継ぐことで保護者の進級時の不安や戸惑いの軽減に努める。** |
| **小学校との連携** | **小学校へのスムーズな移行の為に基本的生活習慣の指導及び、保護者への情報提供、又、幼保小連絡会に参加し、現在の課題(要望)を把握する。また、園からは支援の必要性や個々の育ちの情報提供を行う。コロナ禍の中で授業参観や交流会など中止になることも多かった。** | **年長児、および年長児の保護者が安心し、期待を持って進学できるような取り組みを行う。また、進学する年長児が生きる力を獲得できるよう、地域の小学校と連携し、課題の解決に努める。** |
| **子どもの健康と安全** | **成長に伴った保健計画に基づき、健康の増進・疾病の予防を図ることを目的とし、子どもたちが自分の身体に興味関心を示せるよう、一年を通し、計画的に活動を取り入れている。安全な日常生活が送れるよう、日々園内外の点検を実施。感染症やアレルギー等の知識を職員が共有し、現状の把握と対策を行っている。又、熱中症対策による室温の管理や園庭遊びの際暑さ指数チェック等数値の把握に努め、園児の室内活動におけるマスク着用時の体調管理を見守る。** | **子ども達の緊急対応が必要となった時にも慌てず対応できるように救護に関する研修を増やす。今後も、感染症・アレルギー・けがや様々な事故を想定し、防止法や対応方法の理解を深めていく。年間を通して、水分補給はこまめに声かけを行い尿回数にも意識する。特に未満児はオムツの使用の枚数もチェックし脱水に注意する。感染予防の為の手洗い消毒、玩具の消毒、オゾンや空気清浄機の設置を引き続き行う。** |
| **安全管理** | **園内外の玩具の点検、遊具の点検を毎日行い、子ども達が安全に生活できる環境を作る。また、毎月の避難訓練(地震・火災・水害・不審者対策)を通し職員間での常に迅速に対応できるように話し合いをしている。職員間で救急研修を実施している。緊急メール及び緊急対応マニュアルの掲示など保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。事故報告書を作成し再発防止を園内で話実行している。園外活動においてはマニュアルに沿ったコースで移動し安全の徹底を図っている。** | **施設遊具の点検、玩具の消毒を今まで以上に徹底し安全に努める。また、園全体でＡＥＤや避難訓練の実演講習を受講し、緊急時に対応できるよう知識・技能を習得する。その日に発生した事例をヒヤリハットに記録し全職員で共有し、改善にむけての検討を行う。** |
| **子育て支援事業** | **地域に開かれた支援の場を目指して、子育て中の親子が気軽に集い相互の交流や子育ての不安、悩みを相談できる交流の場を提供する。親子遊び、母親リフレッシュ講座、自主活動、育児相談を行っている。またコロナ禍の中で人数を制限したり、電話での子育て相談を行うなどの保護者支援の充実を図っている。アプリを活用し、現在の空き状況や今月の活動内容が確認できるよう配信している。** | **引き続きコロナ感染症防止の為対策を講じながら実施し、見直しを繰り返しながら浸透させていき、園内でどういった子育て支援事業を行っているかをより解りやすく知らせ、保護者の方が気軽に利用できるよう地域に開かれた園として取り組んでいきたい。** |
| **園外への情報発信** | **日常の保育活動内容を掲示板にポートフォリオ・プロジェクト保育掲載・お便りを活用し、来園者に取り組み内容を発信している。ホームページを開設し、園の概要及び、教育・保育内容の情報公開をしている。子育て支援においては、他の施設機関に子育て支援取り組み情報のお便りを配置し広く情報発信に務める。問い合わせ等にも順次、対応している。** | **今後も、ホームページや標識（看板）の掲載や、他施設の協力を得ながら、園の魅力や活動の情報発信を積極的に行い、子育て支援・保護者支援を行っていく。電話での問い合わせや相談も多く、どの職員も親切丁寧な挨拶や対応が出来るよう事案の情報共有を図る。** |

* **認定こども園の具体的な目標や計画の総合的な評価結果**

**コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、行事や日々の保育の在り方を、職員間で考え見直し**

**ながら行い、子どもたちの心身の成長を伸ばしてあげられるよう努めた。**

**研修で学んだことを生かし、より具体的な計画や取り組みを吟味しバランスを考慮しながら定期的に**

**アセスメントした。また、職員間の意見交換の場を大切にし、様々な声を聴きながら、経験の違いをカバーし合う。**

**安心安全を第一に心身ともにくつろげる環境での生活の場を目指し、子どもの最善の利益とは何かを常に考慮し、実践・対応に努める。**

**感染予防対策に努め、新たな活動方法を構築したことを、保護者の皆様へご理解いただけるよう、発信に努めた。**